

にじいろ通信

令和3年 7月号

Web予約はこちらから



スマホからいつでも予約・キャンセルができます



いつから保育所にいけますか？

一体温よりも全身状態をみるのが大切

お母さんから診察のあとにこの質問をよく受けます。働くお母さんにとっていつから保育所に預けられるかは気になるところです。登園の目安として、**お子さんの健康状態が集団生活に適應できる程度に回復しているかどうかは重要**です。その健康状態は主に体温で判断され、37.5℃以下なら大丈夫として登園させていることが多いのではないのでしょうか。確かに体温は数値で表せるため客観的なデータとして重宝されるのかもしれませんが、しかし、子どもの体温には個人差があり、連続して測定しても値が異なるようにばらつきが大きいことも問題です。私は子どもの健康状態は体温よりも全身状態をみることのほうが重要と考えます。熱が下がったのに、活気がない、すぐに横になる、食欲がないなどいつもと違うという印象が大切で、そういうときにこそ重大な病気が隠れていることがあります。普段からお子さんをよく見て触って抱っこしてその子状態を知っておくことが大切です。体温は健康状態をみる一つの指標と考えましょう。



あせもとは？対策とは？

蒸し暑い日が多くなりました。外来でもあせものお子さんが増えました。

あせもは汗の分泌腺（汗腺）が汗や汚れでつまってしまい皮膚の中に汗がたまってぶつぶつができるものです。赤くなってかゆみがあるときは病院を受診して、弱いステロイド軟こうを処方してもらい、塗れば2～3日でよくなります。

あせも対策は予防が大切です。エアコンなどを使いなるべく汗をかかないようにしましょう。汗をかいたら濡れたタオルでふき取り、着替えをさせてあげてください。肌着は通気性のよい綿素材がおすすめです。



市の事前登録がネットから可能に！

上記のQRコードから「あずかるちゃん」に登録後、キッズケア青い鳥の利用登録をして、施設から承認を受ければ、事前登録が完了します。

6月の感染症情報

RSV感染症が急増しています。重症化する0歳児への感染を防ぐことが重要です。

感染性胃腸炎は下火になりましたが、高熱がでる夏かぜが増えてきました。一部の保育所ではヘルパンギーナの発生もあるようです。

6月の利用状況

6月の利用延べ人数は108名で1日平均利用人数は4.9人でした。年齢別では、1歳児が52人で最も多く半数を占めていました。次いで2歳児32人、3歳児10人の順でした。疾患別では急性上気道炎が66人(61%)で最も多く、次いでRSV感染症15人(14%)の順でした。急性上気道炎の原因として高熱がでる夏かぜが多く含まれているものと思われます。6月はネット予約が浸透してきたせいか入室児童数が100人を超えました。6月からキッズケア青い鳥の公式LINEを開設して、お預かりしたお子さんの写真を個別にLINEで配信しております。入室の際には、ぜひキッズケア青い鳥の公式LINEをお友達に追加してくださいね。